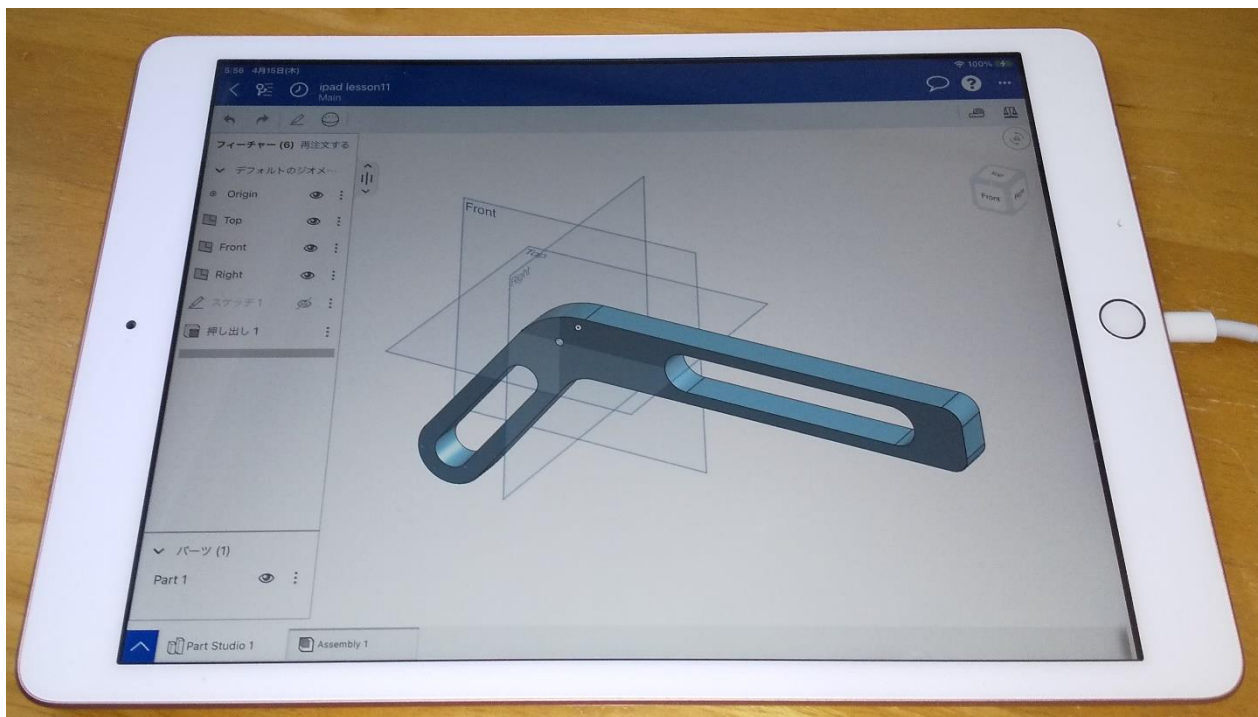


ipad用Onshapeの使い方



作図作業はすべて
画面を指先でタッチ
することで行い
ます

旭川高専 kashikashi

2021.4.15

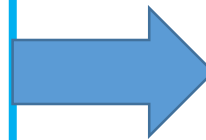
2021.12.26

ipad用Onshapeの特徴

① ipad用の無料版Onshapeでは

- 図面作成ができない
- アニメーションができない
ようです

② WEBブラウザからの使用ではなく、App StoreからOnshapeをダウンロードして使います

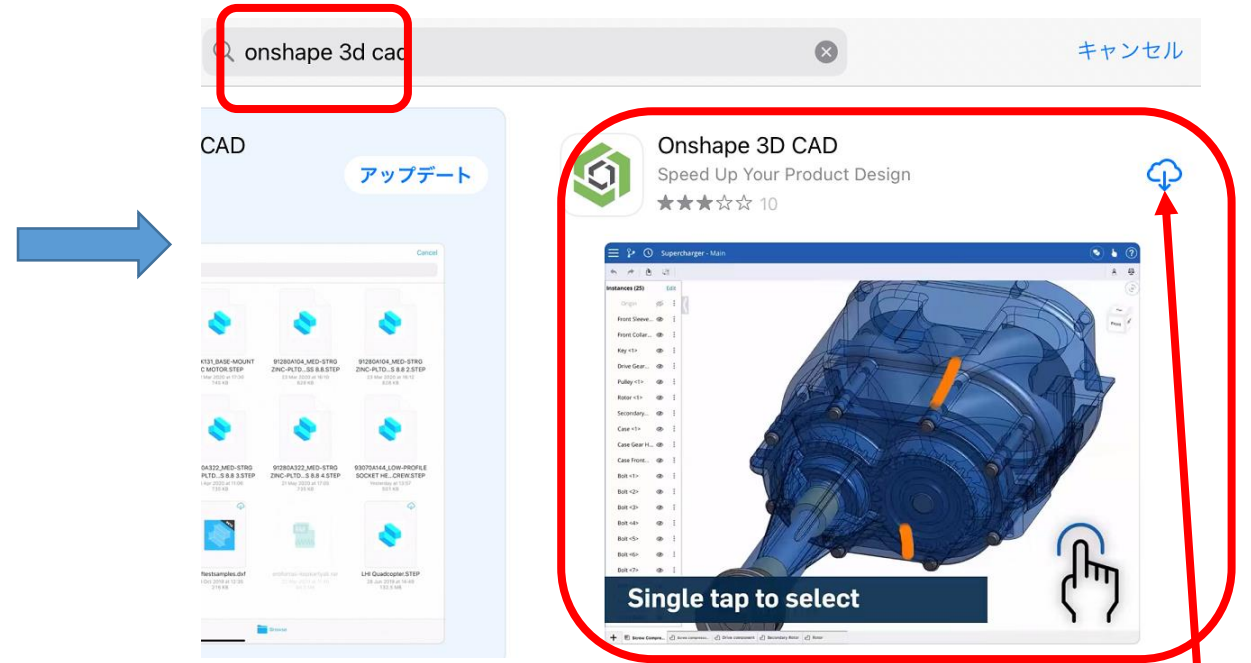


- ダウンロードしたOnshapeはアプリケーションではなく、WEBブラウザの代わりのもので、Onshape本体がダウンロード・インストールされたわけではありません
- Onshapeと作製したドキュメントはクラウド上にあります

ipad用Onshapeを使えるようにしましょう 1

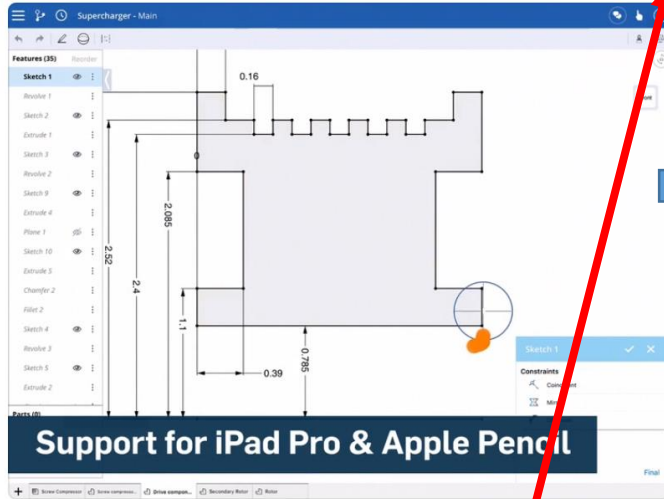
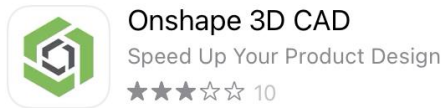


App Storeを
タップします



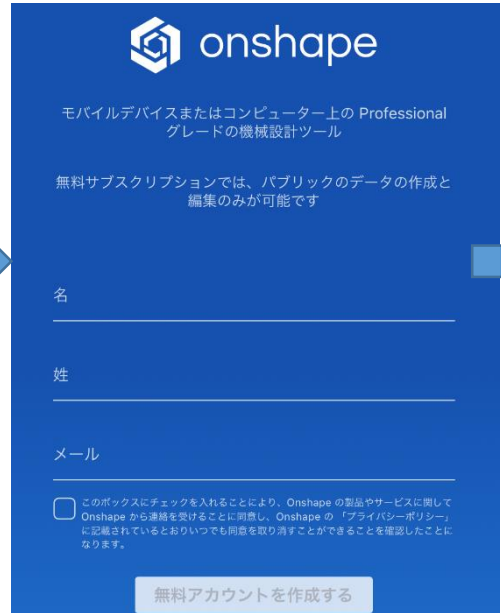
- [Onshape] で検索します
- [Onshape 3D CAD]が現れるのでインストールします

ipad用Onshapeを使えるようにしましょう 2



「開く」をタップ

- アカウ**ン**トのない方は「ア**カ**ウ**ン**ト**を**作成する」をタップする
- アカウ**ン**トのある方はメー**ル**アドレスを入力しサイン**イ**ン**し**ます



- 「アカウントを作成する」をタップすると上の画面になるので必要事項を入力し、**無料**アカウントを作成します

- 続いて現れるウィンドウで「**単位**」設定をする
- 長さはMillimeter、角度はDegree、重さ(マス)はKilogramに設定してください

ipad用Onshapeを使えるようにしましょう 3



- アカウントのある方はメールアドレスを入力しサインインします

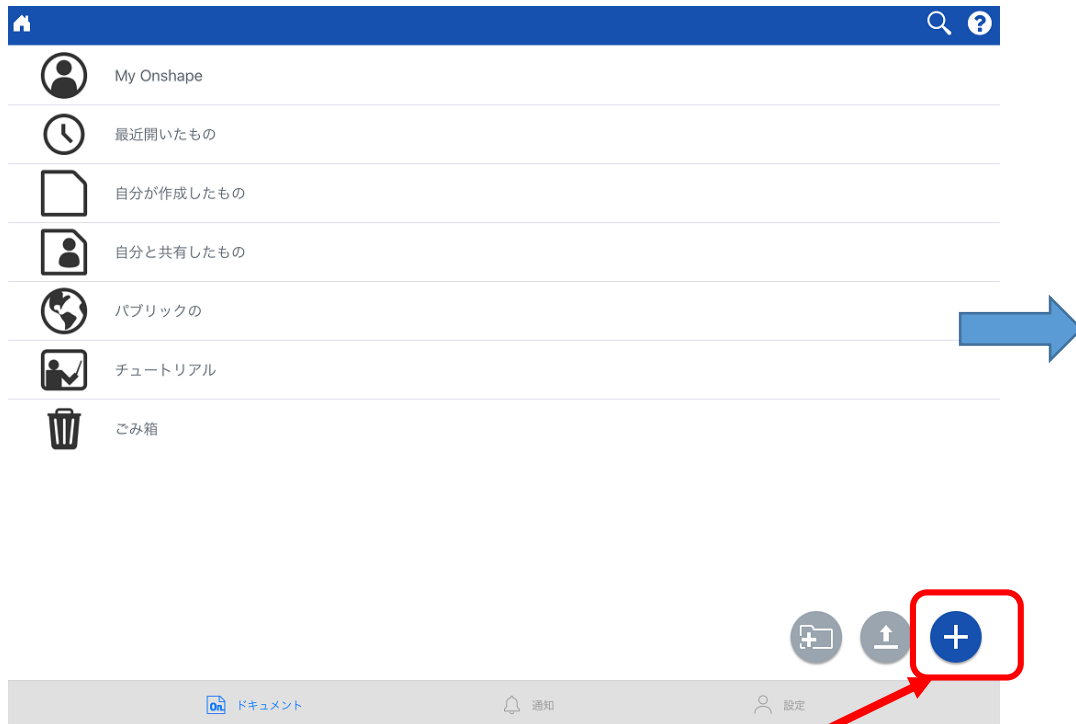


- パスワードを入力しサインインします

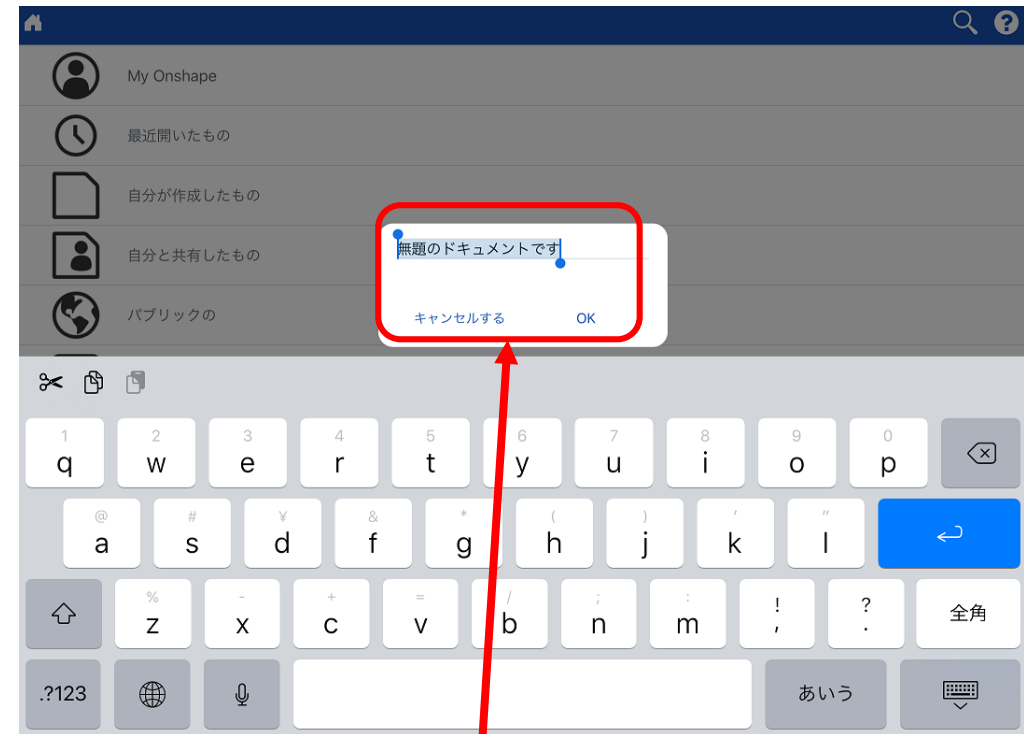


- [Start Using Onshape] をタップして始めましょう

ipad用Onshapeでモデルを作りますよう 1

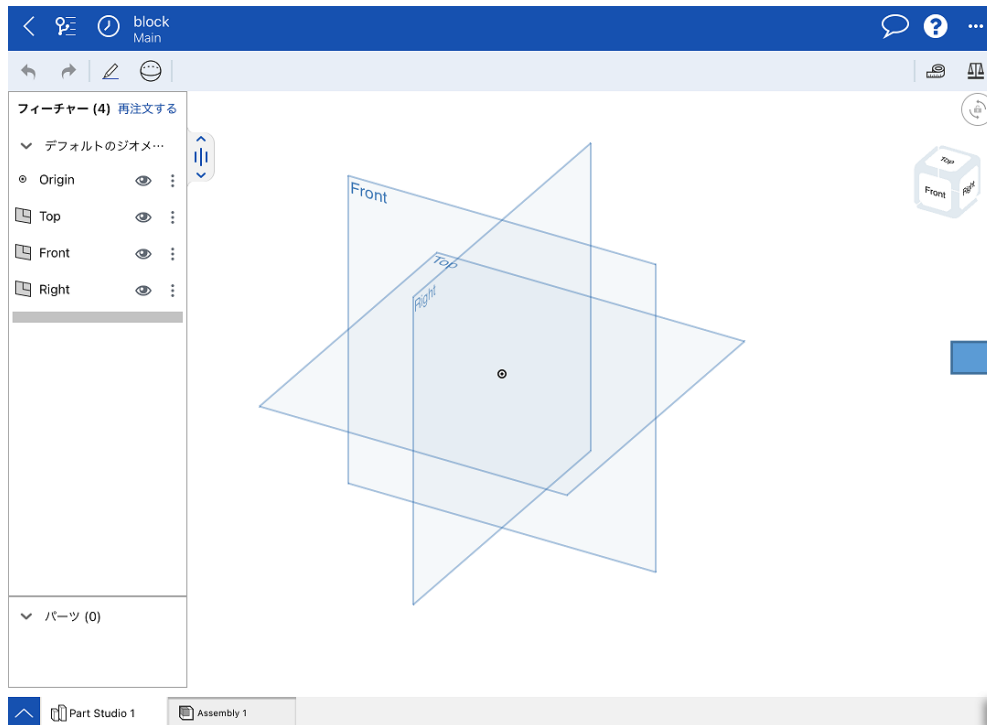


- 上の画面になるので [+] をタップしてドキュメントを新規作成します
- ドキュメントとは作成する3Dモデルを含むファイルのことです
- ドキュメントはクラウド上に保存されます



- ドキュメント名を入力して[OK]をタップします
- 例えば[block]というドキュメント名にします

ipad用Onshapeでモデルを作りますよう 2



- Windows PCと同じワークスペースが現れます
- ipadでの作図作業はすべて画面を指先でタップすることにより行います（マウス、アップルペンはいりません）
- そのため操作方法がマウスを使うwindows PCとは少し異なります

- [Front]（正面図）で作業するとき、[Front]面をタップして選択します。選択されると面がオレンジ色になります。
- [Front]面を正面から見たいので、選択した[Front]面を「人差し指と中指で同時にタッチ」します
- すると図のウィンドウが現れるので「に垂直に表示」をタップします

ipad用Onshapeでモデルを作りますよう 3

Front

block Main

Sketch 1

Front

- 鉛筆マークをタップします
- 中心長方形をタップします
- スケッチツールウィンドウが開きます
- Windows PCですとスケッチツールバーが現れますが、ipadではウィンドウです
- 上図のように[Front]面が真正面になります
- 作図しやすいですね
- 画面をタッチすると長方形の中心点が現れるので、原点を移動します
- 指を画面から離し、もう一度タッチすると長方形が現れるので指を滑らせて適当な大きさの長方形にしてから指を離します

ipad用Onshapeでモデルを作りますよう 4

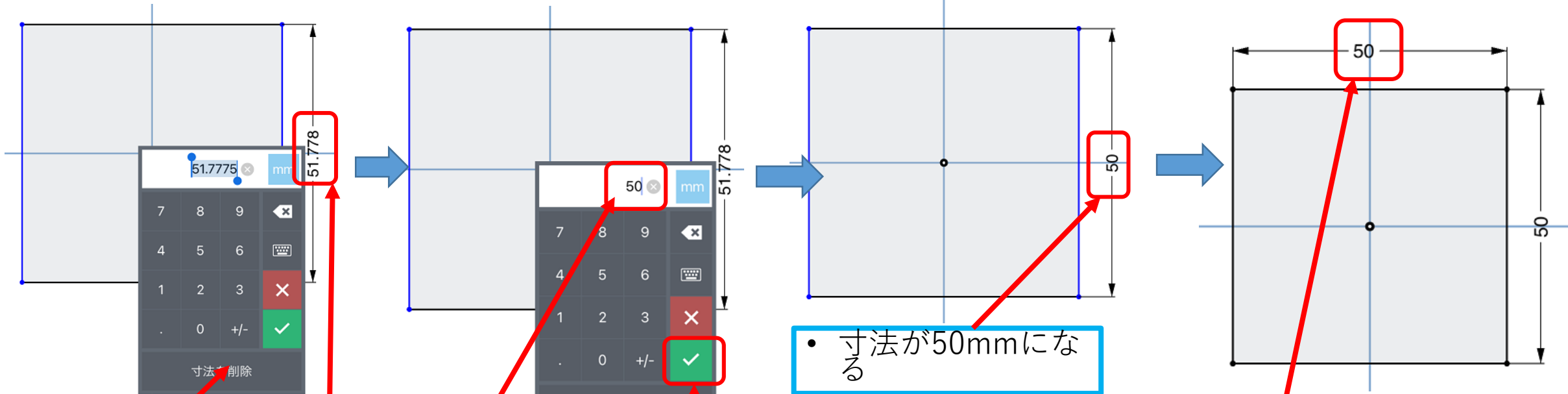
鉛筆マークをタップします
スケッチツールウィンドウが開きます
寸法をタップします

中心長方形を選びます

画面を長押しすると円形ポインタが現れる

円形ポインタを寸法変更したい辺上に移動すると、辺の寸法が現れる

ipad用Onshapeでモデルを作りますよう5



- 寸法を1回タップする
- すると寸法入力用キーボードが現れる

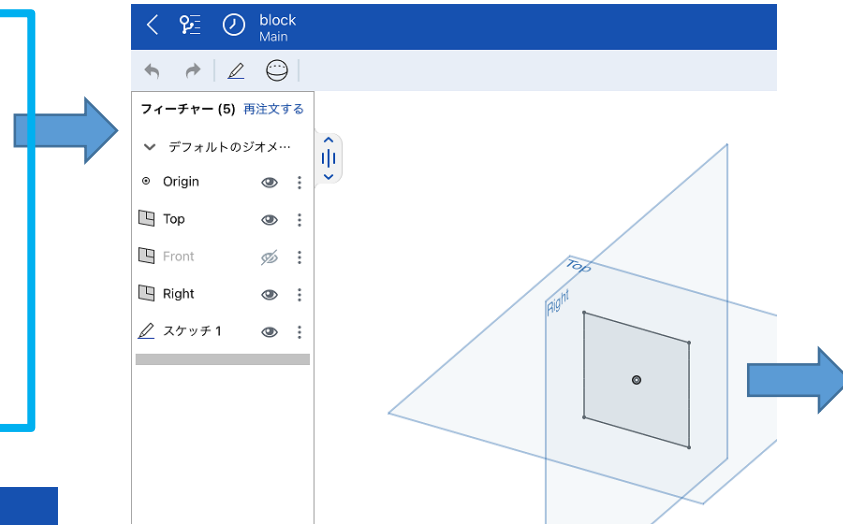
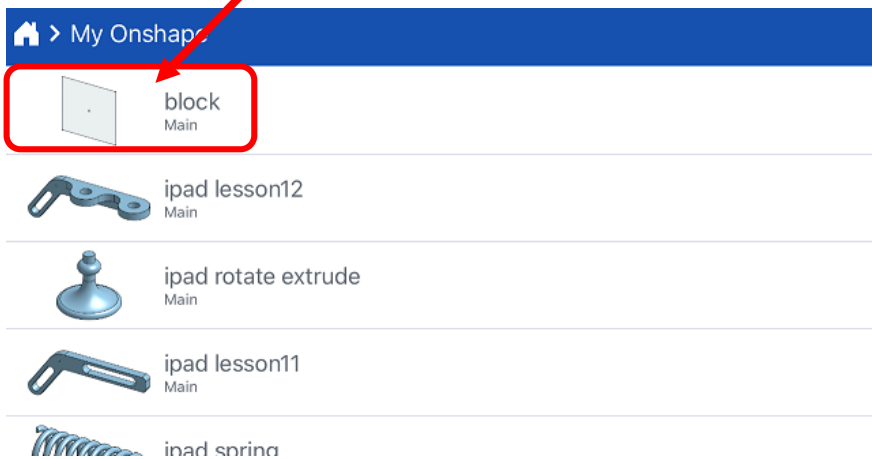
- 50と入力して緑チェックをタップする

- 寸法が50mmになる

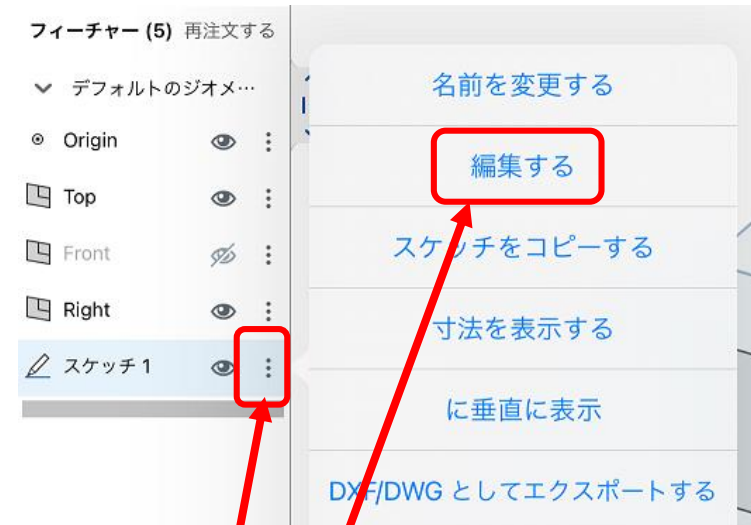
- 同じく上の辺の寸法も50mmにする

ipad用Onshapeでモデルを作りました 6

- 時々、Onshapeの作業しないでそのまましているとipadがロックされて画面が真っ黒になる
- その時はまたパスコードをいれてロックを解除すると[My Onshape]が現れる
- 作業していたドキュメント[block]をタップします

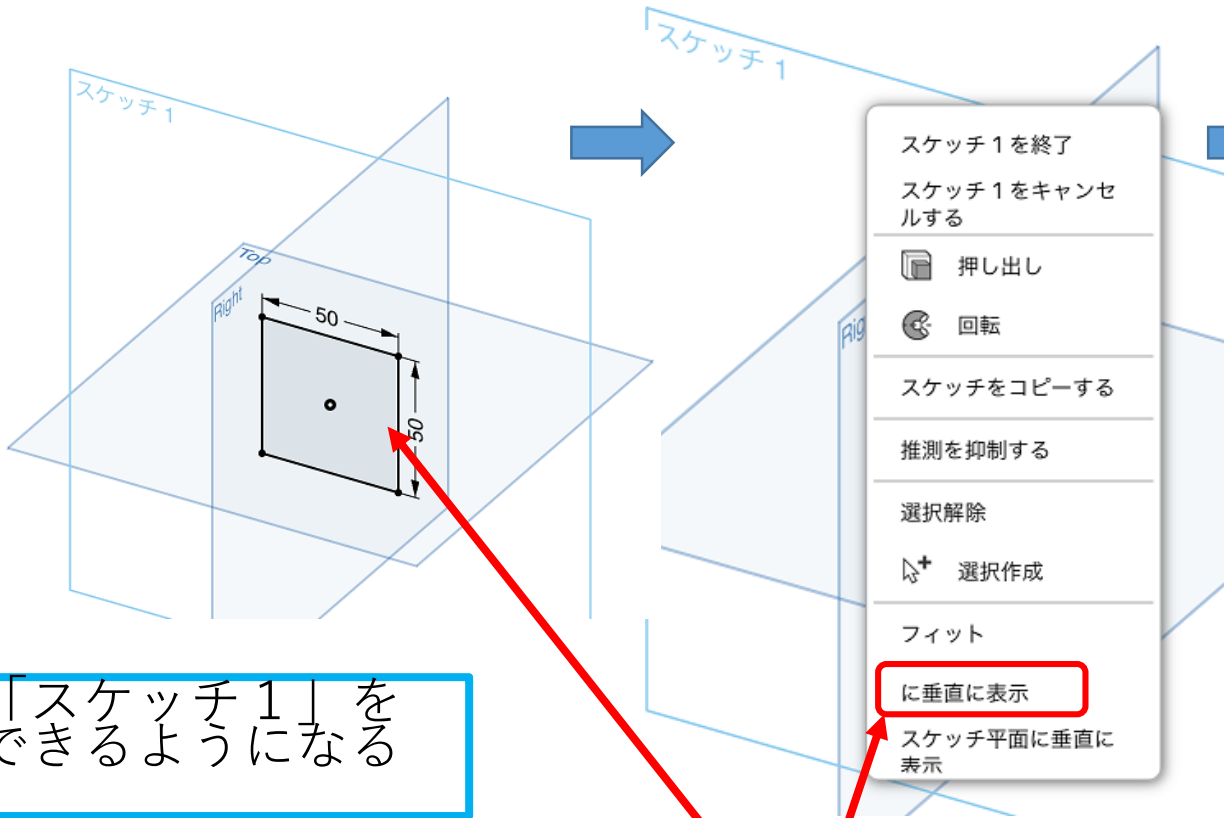
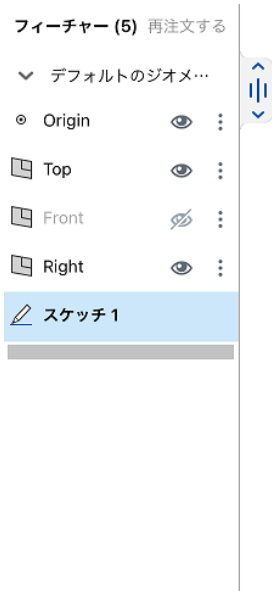


- [block]のワークスペースが現れます



- 「スケッチ1」の右の3つの点をタップする
- 「編集する」をタップする

ipad用Onshapeでモデルを作りました7

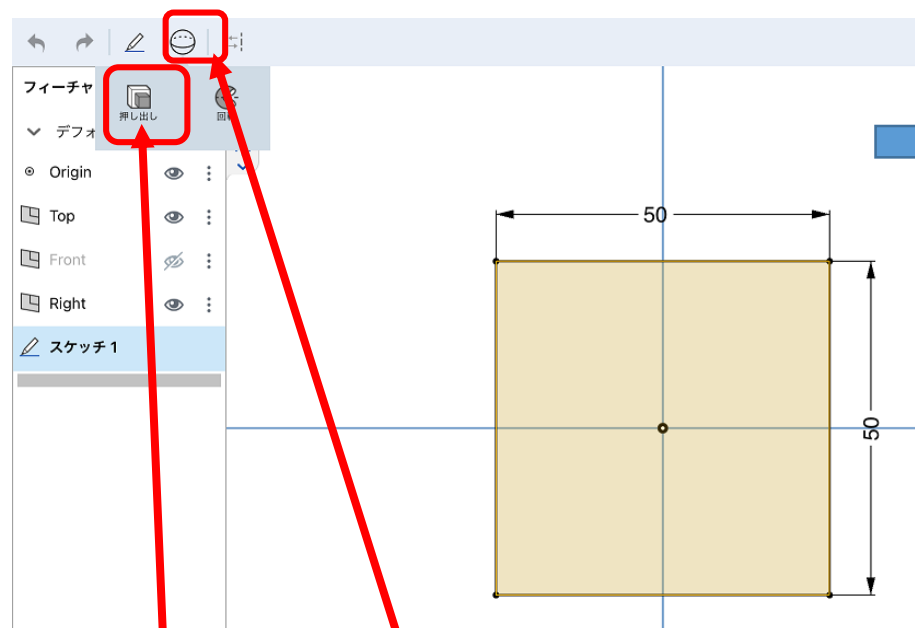


- さきほどの「スケッチ1」を続けて編集できるようになる

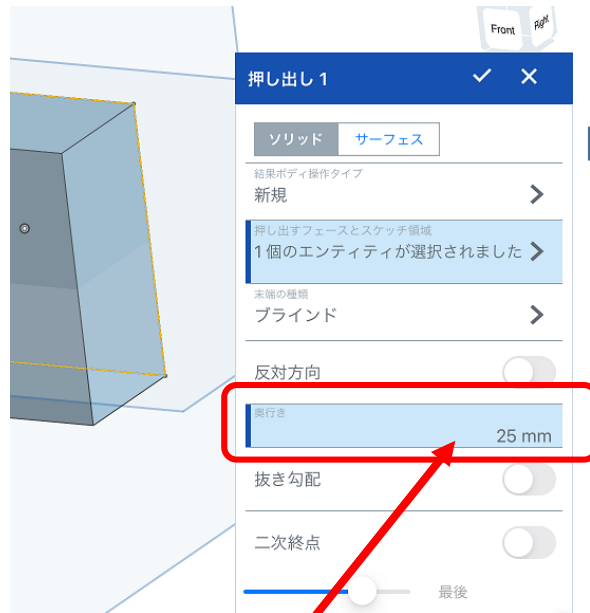
- 50x50の正方形をタップすると選択されてオレンジ色になる
- オレンジ色になった正方形を中指、人差し指2本で同時にタップする
- ウィンドウが現れるので「に垂直に表示」をタップする

- 50x50の正方形が真正面に見えて実形になるので作業しやすい

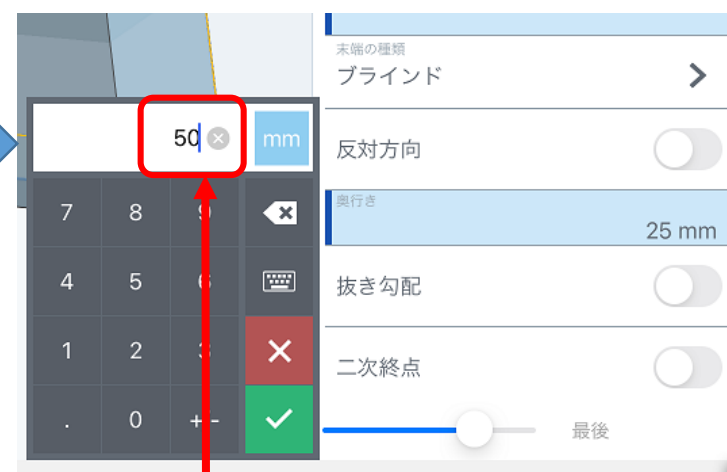
ipad用Onshapeでモデルを作りましたよ 8



- フィーチャーツールをタップする
- 押し出しをタップする

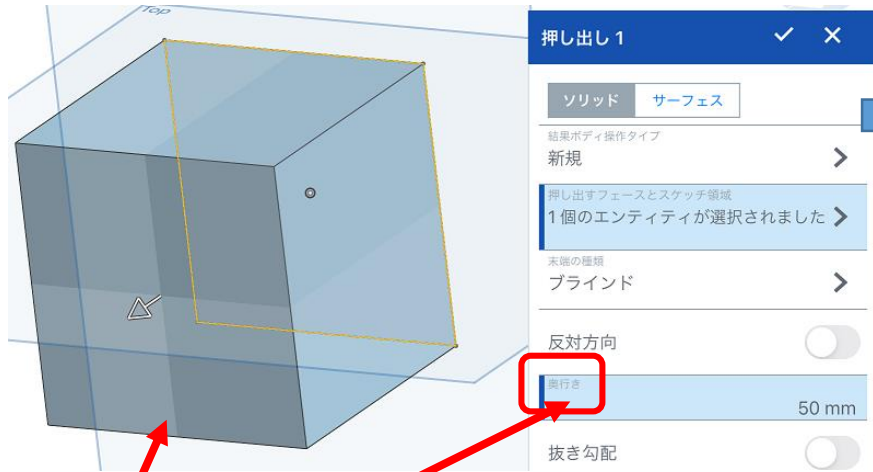


- 押し出しのプロパティが現れるので「奥行き」をタップする

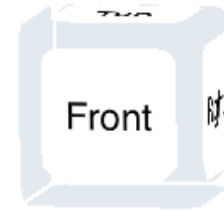
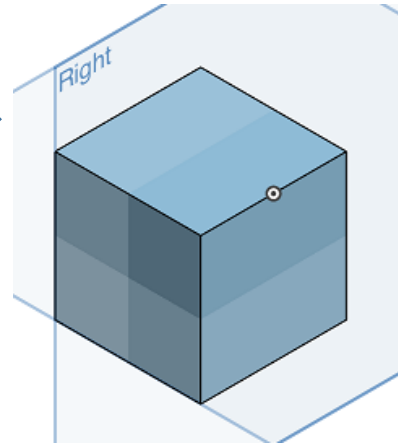


- キーボードが現れるので50と入力し奥行きを50mmにする

ipad用Onshapeでモデルを作りますよう 9



- 奥行きが50mmになる



- ワークスペース右上の「ワークスペース」をタップする

- これでモデル（ブロック）が完成です
- 上図は奥行を見せるためにアイソメトリックビューにしている
- アイソメトリックビューに切り替える方法を右に示す

- 右のリストが現れるので「アイソメトリック」を選ぶ
- するとアイソメトリックビューになる



ビューを選択する

上

下

正面

戻る

右

左

アイソメトリック

ダイメトリック

トリメトリック

名前の付いたビュー

フィット